



2010/01/08

TWS shibuya

フランス／日本：大学間交流プロジェクト

DOUBLE VISION

-映像におけるフィクション／リアリティ-

2010/1/22 **金** → 2010/2/28 **日****A**

リファレンス・ショー

2010/1/22 **金** → 2010/1/31 **日**

ガイ・ベン・ネール、江幡京子、オレリアン・フロマン、福居伸宏、ジェローム・ジョワ、モーセン・マフマルバフ、田中功起、ピーター・ワトキンス

Guy Ben-Ner, Kyoko Ebata, Aurélien Froment, Nobuhiro Fukui, Jerome Joy, Mohsen Makhmalbaf, Koki Tanaka, Peter Watkins

B

ワーク・イン・プログレス

2010/1/26 **火** → 2010/2/7 **日**

レクチャー講師：藤幡正樹、クリストフ・シャルル、クリスティアンヌ・カヴァラン・カルリュ、フィリップ・ウダル、サンディ・アメリオ、ブノワ・ブロワザ、陣内秀信、ジェローム・ジョワ、田中功起、谷口暁彦

Lecturers: Masaki Fujihata, Christophe Charles, Christiane Cavallin-Carlut, Philippe Oudard, Sandy Amerio, Benoit Broisat, Hidenobu Jinnai, Jerome Joy, Koki Tanaka, Akihiko Taniguchi

C

成果発表展

2010/2/9 **火** → 2010/2/28 **日**

東京藝術大学：藤幡正樹、荒木悠、伊藤渉、姜旻亨、田村友一郎、内村真似子

武蔵野美術大学：クリストフ・シャルル、伊藤亜莉、貝和由佳子、小池浩央、御須玲央奈、柴田聡子

フランス・ナント芸術大学：クリスティアンヌ・カヴァラン・カルリュ、フィリップ・ウダル、サンディ・アメリオ、ロマン・バロ、ブノワ・ブロワザ、ソフィア・ブルク、サミュエル・テルミニ、ギオム・フショー、ギオム・マゾリック、ジェレミー・ヴォワヤ

Tokyo University of the Arts: Masaki Fujihata, Yu Araki, Wataru Itoh, Min H. Kang, Yuichiro Tamura, Maiko Uchimura

Musashino Art University: Christophe Charles, Eri Ito, Yukako Kaiwa, Teruaki Koike, Leona Misu, Satoko Shibata

école supérieure des beaux-arts de Nantes Métropole: Christiane Cavallin-Carlut, Philippe Oudard, Sandy Amerio,

Romain Baro, Benoit Broisat, Sophia Burke, Samuel Dermigny, Guillaume Fouchaux, Guillaume Mazauric, Jeremy Woillard

D

DOUBLE VISION・イン・ナント

2010/3/16 **火** → 2010/3/27 **土**

会場①: ESBA Gallery : オープニング・レセプション 2010年3月15日(月)

②: le lieu unique : オープニング・レセプション 2010年3月16日(火)



各位

謹啓

貴下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素よりトーキョーワンダーサイト(TWS)の事業運営にご高配いただき、誠に有難うございます。

さて、この度TWSは、東京藝術大学、武蔵野美術大学、フランス・ナント芸術大学との連携のもと、「フランス／日本：大学間交流プロジェクト「DOUBLE VISION」- 映像におけるフィクション／リアリティ -」（2010年1月22日(金) - 2月28日(日) TWS渋谷)を開催いたします。

TWSはこれまで、「INDEX」展、「NEW DIRECTION」展(共に京都造形芸術大学との共催)、「都市的知覚」展(IAMAS 情報科学芸術大学院大学との共催)と、国内の芸術系大学との連携を通じて、若手アーティストを紹介する展覧会を開催してきました。

本企画は、その大学連携の一環として、日仏のメディア系大学の学生と研究者が、今日の映像メディアの持つ課題に対して、共同で考え、創造を行う場をワーク・イン・プログレス形式にて発表するものです。

展覧会は大きく三つに分かれており、第一部では観客を含む参加者がプログラムの中心課題を共有するためのリファレンス展示を行い、第二部、関連内容のレクチャー・学生と研究者が共同で行うリサーチなどのワークショップを経て、第三部の学生たちによる成果発表展示へと発展します。

なお、本展は3月にフランス・ナント市へも巡回することが決まっています。

つきましては、本企画を貴媒体上でご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、1月22日(金)、2月9日(火)に開催するレセプションへもぜひ足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

敬具

2010年1月吉日

トーキョーワンダーサイト館長・東京都参与
今村 有策



開催概要

- 会期[A]：2010年1月22日(金)→2010年1月31日(日)
- [B]：2010年1月26日(火)→2010年2月7日(日)
- [C]：2010年2月9日(火)→2010年2月28日(日)
- [D]：2010年3月16日(火)→2010年3月27日(土)
- 会場：トーキョーワンダーサイト渋谷 (Dのみフランス・ナントにて開催)
- 開館時間：11:00-19:00(最終入場は30分前まで)
- 入場料：無料
- 休館日：月曜日
- イベント：A リファレンス・ショー オープニングレセプション：2010年1月22日(金) 19:00-21:00

B レクチャーシリーズ(逐次通訳あり)：

- ①藤幡正樹：2010年1月26日(火) 18:00-19:00
- ②瀧健太郎、クリスティアヌ・カヴァラン・カルリュ、サンディ・アメリオ：2010年1月30日(土) 16:00-19:00
- ③陣内秀信、フィリップ・ウダル、ブノワ・プロワザ：2010年1月31日(日) 16:00-19:00
- ④クリストフ・シャルル、ジェローム・ジョワ、谷口暁彦：2010年2月7日(日) 16:30-19:00
- ⑤田中功起：2010年2月11日(木・祝) 16:00-17:00

C 成果発表展 オープニングレセプション：2010年2月9日(火) 19:00-21:00

■関連イベント：

- ①東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻年次成果発表会 「Media Practice 09 -10」
会期：2010年1月16日(土) - 2010年1月24日(日) 11:00 -19:00
会場：東京藝術大学大学院映像研究科 新港校舎
- ②平成21年度武蔵野美術大学卒業終了制作展
会期：2010年1月29日(金) - 2010年2月1日(月) 9:00 -17:00
会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス
- ③DOUBLE VISION ライブイベント
日時：2010年2月3日(水) 18:30 -
会場：Superdeluxe(西麻布)www.sdlx.jp

■主催：東京藝術大学、武蔵野美術大学、フランス・ナント芸術大学、財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

■協力：青山 | 目黒、小山登美夫ギャラリー、Motive Gallery、Galerie Nathalie Obadia

■助成：CULTURESFRANCE、フランス文化省、ナント・メトロポール都市共同体、ナント市

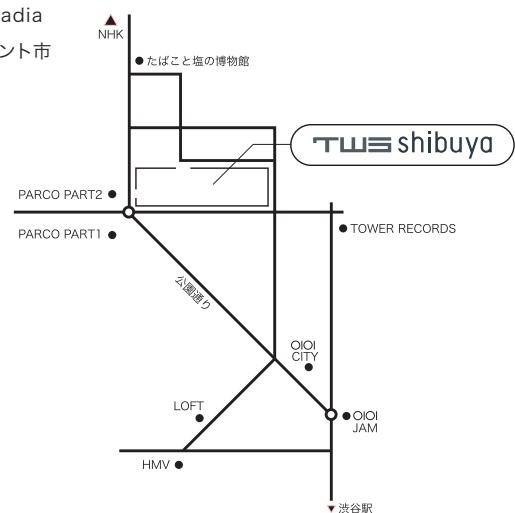
■会場：トーキョーワンダーサイト渋谷(〒150-0001 東京都渋谷区神南1-19-8)

Tel: 03-3463-0603 / Fax: 03-3463-0605

■交通案内：渋谷駅(JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急東横・田園都市線/

京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線)より徒歩8分

*駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。





フランス/日本：大学間交流プロジェクト DOUBLE VISION -映像におけるフィクション/リアリティ-

映像がもたらすものはフィクションか？

あるいは現実がフィクションなのか？

映画というイメージの連続は、スタジオでの現実の出来事の記録によって作り出されたものでありながら、フィクションという非現実の世界を作り出す。そのフィクションにリアリティがあるとすれば、それは日々の現実にある種のひび割れを作り出すからである。現実がメディアによってますますフィクション化されてゆく現代において、メディアを用いて現実に異化作用を作り出すことこそが今芸術に求められているのではないだろうか？

本展示では、映像メディアをめぐるこうした中心課題について、日仏の映像メディア系の学生と研究者が共同で展開していく創作の場を、ワーク・イン・プログレス形式にて発表する。特に、前半は中心課題を共有するための海外作家を含む展示を行い、後半では、リサーチや日仏の共同作業を通じた創発的な場そのものを展示してゆく。

また、3月にはフランス、ナント市へとプロジェクトは継続されてゆく。

東京藝術大学大学院映像研究科長 藤幡正樹

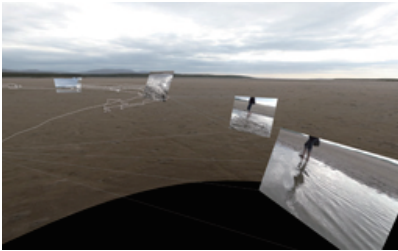
武蔵野美術大学映像学科助教授 Christophe Charles

フランス・ナント芸術大学教授 Christiane Cavallin-Carlut

Philippe Oudard

トーキョーワンダーサイト館長/東京都参与 今村有策

企画者紹介



《Simultaneous Echoes》2009

藤幡正樹 | Masaki Fujihata

1956年東京生まれ。

東京芸術大学大学院映像研究科長、教授

その作品は、インタラクティブ・アート、ヴァーチャル・リアリティー、ネットワーキングといった最も新しい技術を扱って、これまでの表現のメディアでは、浮かび上がって来なかった様々な問題を扱うことで、新しい命をアートの世界へ送り込んだ。その探索の企ては、常に普遍的な場所から対象の本質を見極めようというもので、例えば人間の知覚や意識、あるいはなぜ人はコミュニケーションしたがるのかといった根本からの疑問を対象へ投げかけてゆく。非常に特異な哲学と、ユーモアに溢れた作品やプロジェクトは、国内で海外で高い評価を得ている。



《Installation at SoundArt》2000

クリストフ・シャルル | Christophe Charles

1964年マルセイユ生まれ。

武蔵野美術大学映像学科准教授

1996年、筑波大学大学院芸術学研究科博士課程修了。1997年、フランス国立東洋文化東洋言語研究所大学院博士課程修了。2000年より武蔵野美術大学映像学科准教授。環境芸術学会理事。メディアアートを専門に、現代芸術における理論的・歴史的な研究を行いながら、内外空間を問わずインスタレーション及びコンサートを行い、それぞれの要素のバランス、独立性及び相互浸透を追求している。



《Casting》2010

クリスティアンヌ・カヴァラン・カルリュ | Christiane Cavallin-Carlut

1958年フランス生まれ

フランス・ナント芸術大学教授

主な展示

2007 「The Adventures of the Humble Folks」、金沢市民会館、金沢

2000 「School Bag Gallery」、Encours Gallery、フランス

1998 「Videonale」、ボン美術館、ドイツ



《Fiction Cities》2010

フィリップ・ウダル | Philippe Oudard

1954年パリ生まれ

フランス・ナント芸術大学教授

主な展示

1998 「SQR 2」、L'Aquarium、フランス

1990 「Motus」、Galerie Edouard Manet、フランス

A リファレンス・ショー



《Stealing Beauty》2007



《ジャムの詰め小屋》2009



《The Apse, the Bell and the Antelope》2005



《Untitled》2009

参加アーティスト紹介

ガイ・ベン・ネール | Guy Ben-Ner

1969年イスラエル生まれ

主な個展

2005 「Treehouse」、第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ、イタリア

2005 「Wild Boy」、Postmasters Gallery、アメリカ合衆国

2003 「Elia-a Story of an Ostrich Chick」、ヘルツリア美術館、イスラエル

江幡京子 | Kyoko Ebata

1973年東京生まれ

主な経歴

2010 「第一回現代美術地中海ビエンナーレ(ハイファ)」出品予定

2009 トーキョーワンダーサイト二国間交流事業ソウル サムジースペース派遣

2008 「TWS-Emerging105 “ジャムの瓶詰め小屋”」TWS本郷、東京

2002 「The Usual Passages.」THINK ZONE(森美術館)、東京

オレリアン・フロマン | Aurélien Froment

1976年フランス生まれ

主な個展

2009 「Passengers」、CCA Wattis、アメリカ合衆国

2007 「Calling the Elephant」、ダブリンアートセンター、アイルランド

2006 「A Hole in the Life」、STORE、イギリス

福居信宏 | Nobuhiro Fukui

1972年徳島生まれ

主な展示

2008 「Juxtaposition」小山登美夫ギャラリー、東京

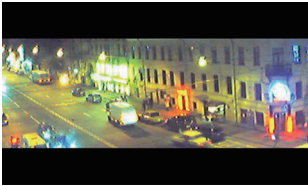
2007 「東京画-ささやかなワタシのニチジョウのフーケイ-」TWS渋谷、東京

2006 「There There」Joachim Gallery、ドイツ

2005 「Trans A.M.」現代HEIGHTS GalleryDEN、東京



A リファレンス・ショー



《nocinema.org》2008



《サラーム・シネマ》1995



《Simple Gesture and Temporary Sculpture》2008



《Punishment Park》1971

参加アーティスト紹介

ジェローム・ジョワ | Jerome Joy

1961年フランス生まれ

作曲家、nocinema.orgディレクター

<http://www.nocinema.org>

モーセン・マフマルバフ | Mohsen Makhmalbaf

1957年イラン生まれ

監督作品

2005 セックスと哲学

2001 カンダハール

1995 サラーム・シネマ

田中功起 | Koki Tanaka

1975年栃木生まれ

主な個展

2009 「Simple Gesture and Temporary Sculpture」、

青山 | 目黒、東京

2008 「Here shows recent works in new installations, by the way.」、

群馬県現代美術館、群馬

2007 「Turn the lights on」、Centre A、カナダ

ピーター・ワトキンス | Peter Watkins

1935年イギリス生まれ

監督作品

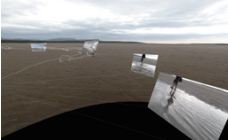
2000 La Commune

1976 Edvard Munch

1971 Punishment Park

PRESS RELEASE S 7

B ワーク・イン・プログレス



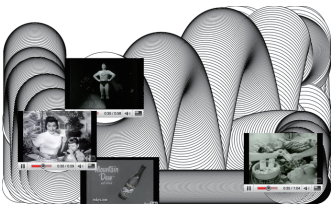
《Simultaneous Echoes》2009



サンディ・アメリオ《Exiting the Factory》2004



ブノワ・ブロワザ《Franz Lizst's Place》2006



谷口暁彦《study_091215》2009



《Simple Gesture and Temporary Sculpture》2008

レクチャーシリーズ

■2010年1月26日(火) 18:00-19:00 (日英逐次通訳)

藤幡正樹 | Masaki Fujihata

東京藝術大学大学院映像研究科長、教授

■2010年1月30日(土) 16:00-19:00 (日英逐次通訳)

クリスティアンヌ・カヴァラン・カルリュ | Christiane Cavallin-Carlut

フランス・ナント芸術大学教授

サンディ・アメリオ | Sandy Amerio

アーティスト

瀧健太郎 | Kentaro Taki

アーティスト

■2010年1月31日(土) 16:00-19:00 (日英逐次通訳)

陣内秀信 | Hidenobu Jinnai

法政大学工学部建築学科教授、建築史家

フィリップ・ウダル | Philippe Oudard

フランス・ナント芸術大学教授

ブノワ・ブロワザ | Benoit Broisat

アーティスト

■2010年2月7日(日) 16:30-19:00 (日仏逐次通訳)

クリストフ・シャルル | Christophe Charles

武蔵野美術大学映像学科准教授

ジェローム・ジョワ | Jerome Joy

アーティスト、nocinema.orgディレクター

谷口暁彦 | Akihiko Taniguchi

アーティスト

■2010年2月11日(木・祝) 16:00-17:00 (日英逐次通訳)

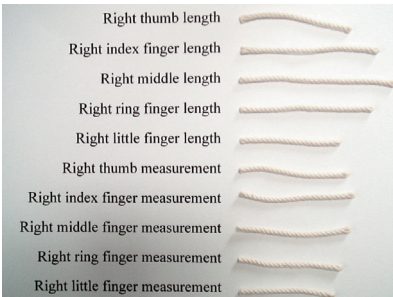
田中功起 | Koki Tanaka

アーティスト

C 成果発表展



田村友一郎《ダブルルーム》2009



御須玲央奈《体躯のスケール》2009



ロマン・バロ《Project Rugbymen》2000

参加学生・研究者紹介

東京藝術大学大学院映像研究科

大学院映像研究科は、2005年に東京藝術大学に新設された独立大学院であり、映画、アニメーション、メディア映像の3専攻から構成される、いわば国立の映画学校である。他国の同様の機関と比較すると、設立後の歴史が浅いが、その分新しいメディア技術を取り込んだ教育研究が可能となっており、大きな優位性を持っているといえる。すでに、修了生が監督デビューを果たすなど新たな人材が巣立ちはじめている。

■参加学生：

荒木悠
伊藤渉
姜旻亨
田村友一郎
内村真似子

武蔵野美術大学映像学科

映像学科最大の特色は、映像のあらゆるジャンルを、総合的に学び体験することにある。静止映像としての写真表現、動画映像として時空間を手の内にする映像表現などを3学年終了時まで総合的に学ぶことが可能。映像学科すべてのジャンルが相互に共鳴しあい、融合して影響しあう。その目的は専門的知識を有し、強い意志と自由な感性を併せ持ち、かつ国際的に通用する人材の育成である。

■参加学生：

伊藤亜莉
貝和由佳子
小池浩央
柴田聡子
御須玲央奈

フランス・ナント芸術大学 | école supérieure des beaux - arts de Nantes Métropole

フランス国内だけでなく国際的に名高い高等教育機関で、文化省によって運営される、ナント市の文化機関である。授業は学生個人のプロジェクトに応じて組み立てられ、文化的研究を通して行われる。その目的は、学生各々の特性と才能を活かしながら、彼ら自身が現代社会と関わりを持つことである。

また、ナントの文化活動において重要な役割を果たしており、二つのギャラリーの運営と市議会の幅広いプログラムを管理する一方で、他の文化機関と数多くの連携事業を行っている。

■参加学生・研究者：

Sandy Amerio	Samuel Dermigny
Romain Baro	Guillaume Fouchaux
Benoit Broisat	Guillaume Mazauric
Sophia Burke	Jeremy Woillard